

電気関係事故報告の概要

1. 志賀1号機起動変圧器からの絶縁油漏えい

<要旨>

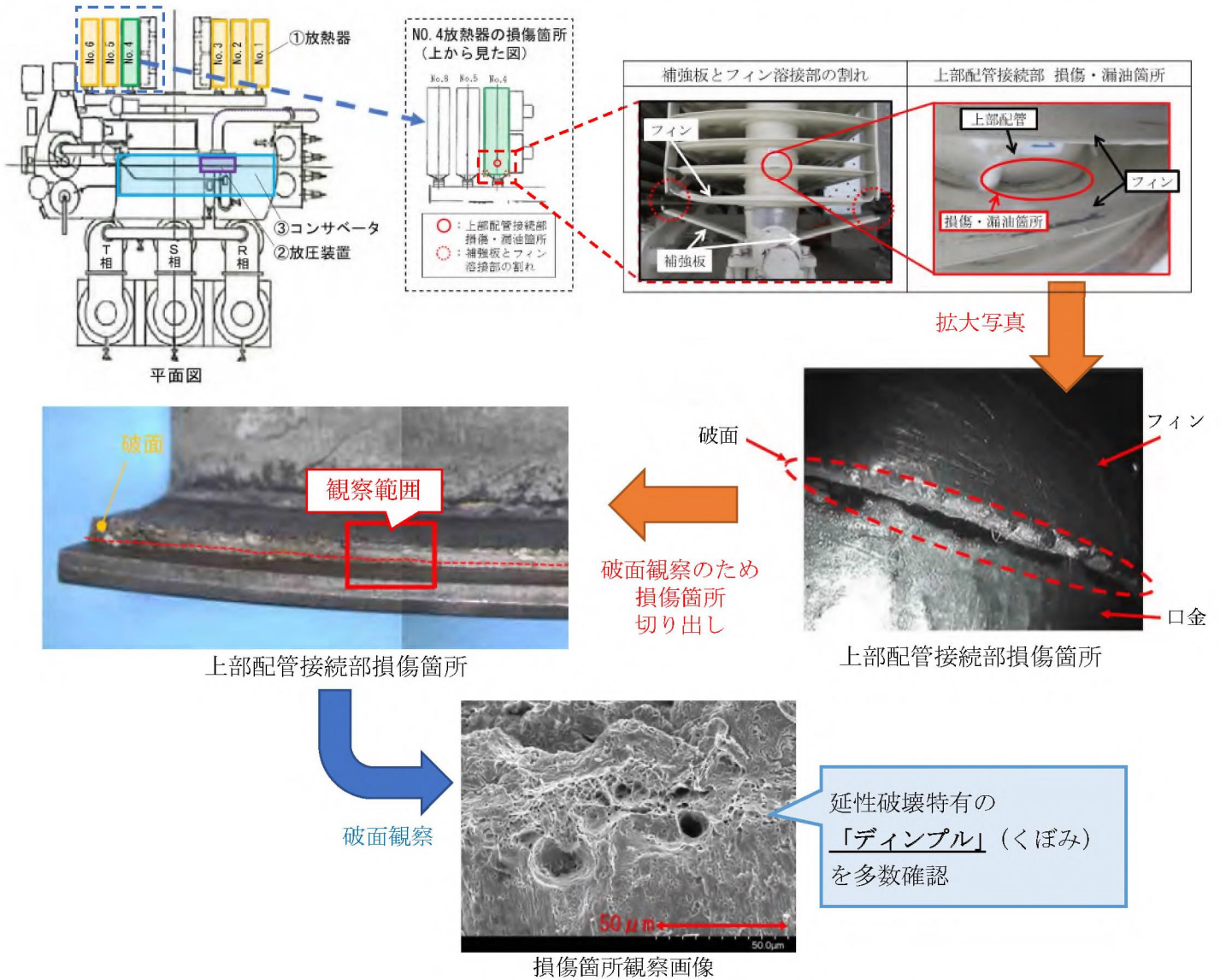
絶縁油の漏えいが確認されたNo. 4放熱器について上部配管接続部の損傷（約60mm）及び補強板とフィン溶接部の割れを確認。これらについて、破面観察及び構造解析を実施。

損傷した原因は、放熱器が地震動と共振したため、放熱器上部配管接続部に対して設計時に考慮した静的水平加速度0.5Gを上回る加速度が発生し、部材に許容値を超える過大な応力が発生したことによるものと推定。

<破面観察結果>

No. 4放熱器上部配管接続部及び補強板において、主に「延性破壊※1」を確認。

（延性のある金属材料が過大な荷重を受けた時に発生するディンプルと呼ばれるくぼみを多数確認。）



※1 「延性破壊」：材料に引張力を加えた時に大きな塑性変形を起こし、最終破断までに材料の著しい伸びや絞りを伴う破壊現象。